

## 母体血による胎盤機能診断方法

主たる提供特許	出願者	国立大学法人長崎大学
	題名	胎盤機能の網羅的かつ非侵襲的評価方法および検査用試薬
	番号	特開2008-278886

## 短期間、安全、網羅的な胎盤機能・胎盤特異的疾患検査

## 技術概要

## 発明概要

- ・従来、胎児の病気や胎盤機能は、羊水検査(16週～)や絨毛検査(11週～)で診断されてきたが、これらの検査法は破水や流産等の危険を伴います。
- ・母体血中の胎児・胎盤特異的mRNAを50種特定し、このmRNAの挙動により、胎盤機能・胎盤特異的疾患を予測できます。



## 効果

- ・従来より早く(5～7週)、かつ安全に診断ができます。
  - ・一つの因子による不確定な診断ではなく、網羅的に胎盤機能を測定できます。
- 癒着胎盤や妊娠高血圧症など、出産前に事前にリスクを把握できることによって、安全な出産のための準備が可能となります。

## 応用分野

## 実用化例

- ・胎盤機能不全の診断キット
- ・産科合併症の早期診断キット
- ・胎盤機能不全或いはそれに関連する産科合併症の研究ツール

## 企業へのメッセージ

当該キットを共同開発する企業を探しています。